

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第1週)

宮城県【平成25年01月11日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

- 2012.12.31 - 1.6 - 第1週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市 患者数	患者数	累計	第50週	第51週	第52週	第1週
水痘	11 2.20	18 1.80	20 4.00	3 1.50	11 3.67	28 5.60	18 9.00	47 1.81	156 2.69	156	◎ →	◎ →	◎ →	◎
流行性耳下腺炎	2 0.40	1 0.10	8 1.60			23 4.60	4 2.00	2 0.08	40 0.69	40	○ →	○ →	○ →	○
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	28 5.60	42 4.20	36 7.20	10 5.00	31 10.33	35 7.00	8 4.00	67 2.58	257 4.43	257	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病	1 0.20		7 1.40		7 2.33	2 0.40	1 0.50	1 0.04	19 0.33	19	○ →	○ →	レ →	
伝染性紅斑	1 0.20		2 0.40						3 0.05	3	→	→	→	
突発性発しん			1 0.20	1 0.50	2 0.67	1 0.20	1 0.50	2 0.08	8 0.14	8	○ →	○ →	○ →	レ
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	25 3.13	17 1.13	17 2.13	2 0.67	8 1.60	33 4.13	14 3.50	56 1.33	172 1.85	172	○ →	◎ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱	5 1.00	4 0.40		1 0.50	4 1.33			3 0.12	17 0.29	17	→	→	→	
流行性角結膜炎											→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3 0.60	6 0.60	1 0.20					11 0.42	21 0.36	21	◎ →	◎ →	◎ →	レ
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎	4 4.00		4 4.00	5 5.00			3 3.00	3 0.60	19 1.58	19	○ →	○ →	○ →	レ
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	3 0.60	3 0.30				1 0.20		6 0.23	13 0.22	13	○ →	レ →	○ →	レ
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	4	4	1	6		6	1	：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病	1			1				【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>					
	不明発疹症	1						3						

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第50週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別では佐賀県(8.11)、群馬県(6.87)、沖縄県(3.79)、山梨県(3.08)、埼玉県(2.28)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は4,022例と横ばいであった。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約72%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は第45週以降増加が続いている。宮城県(1.19)、福岡県(1.07)、北海道(0.93)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は減少した。富山県(5.59)、鳥取県(4.32)、山口県(4.10)が多い。感染性胃腸炎: 報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。鹿児島県(33.04)、香川県(33.03)、愛媛県(29.76)、宮崎県(29.69)が多い。水痘: 報告数は第43週以降増加が続いている。宮崎県(4.47)、宮城県(4.17)、山形県(3.93)が多い。手足口病: 報告数は減少した。茨城県(1.68)、栃木県(1.43)が多い。伝染性紅斑: 報告数は第47週以降増加が続いている。岩手県(0.28)、愛媛県(0.22)、長野県(0.18)が多い。百日咳: 報告数は減少した。広島県(0.08)、群馬県(0.07)、千葉県(0.05)が多い。ヘルパンギーナ: 報告数は第35週以降減少が続いている。愛媛県(0.19)、山口県(0.17)、宮城県(0.14)が多い。流行性耳下腺炎: 報告数は2週連続で減少した。山形県(1.67)、岩手県(1.60)、大分県(1.17)が多い。マイコプラズマ肺炎: 報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。青森県(6.67)、福島県(4.00)、宮城県(3.08)が多い。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。( )内の数字は定点当たり報告数となります。

## 今週の全数報告疾病

\*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: 報告なし

気仙沼管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告 4例  
4例(第51週)

(仙台市を含む基幹定点報告)

今シーズンのインフルエンザの定点当たりの報告数は、第43週以降増加が続いている。これまでの国内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、A/H3亜型(A香港型)が最も多く検出されている。1月に入り学校等の冬季休暇が終了した後は、本格的な流行となる可能性が考慮されるため、今後とも注意深い観察が必要である。

今週の感染症のコメント  
- 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 -

### 【水痘】

気仙沼管内で警報継続中。  
大崎、石巻管内で注意報継続中。  
水痘は例年年末・年始に冬のピークに達する。依然として流行が続いているので今しばらく注意が必要である。

### 【流行性耳下腺炎】

石巻管内で警報継続中。

### 【病原体検出情報】

～保健環境センター～

感染症胃腸炎集団発生事例より  
石巻管内 第1週採取分 ノロウイルス(GⅡ) 2件  
先週と比較すると感染性胃腸炎の患者数は減少しているが、県内でも集団発生患者からの報告もあるので引き続き注意が必要である。

### ～仙台医療センターウイルスセンター～

	第51週採取分 (12.17～12.23)	第52週採取分 (12.24～12.30)	第1週採取分 (12.31～1.6)
RSウイルス	8件	4件	0件
アデノウイルス	3件	1件	0件
サトウノコウイルス	1件	0件	0件

【HIV感染者、AIDS患者累積報告数】		平成24年9月30日現在
	HIV感染者	AIDS患者
宮城県	99(2)	67(2)
全 国	14,448(273)	6,603(111)

( )内は平成24年6月24日～平成24年9月30日分の報告数である。  
国立感染症研究所・感染症情報センター IASR2012年12月報より